

菊陽大好き！ 笑顔と自信にあふれ  
 学び合い 支え合い 共に未来を切り拓く 児童の育成



やさしく  
にこにこ笑顔

かしこく  
ぐんぐんやる気

たくましく  
もりもり元気

校長 根本

未来の主人公が菊陽町の未来を考える！



武蔵ヶ丘中学校区の3小学校の6年生が、国語科の単元「町の幸福論」で学んだことを生かし、自分たちがえがく菊陽町の未来について、菊陽町の吉本町長、二殿教育長をはじめ教育委員会の皆さんにオンラインで提案を行いました。

お年寄りから子どもまで楽しめるイベントを作ったり、外国の人と地元の人たちが交流したりできるように文化交流イベントを行うことで、人と人がつながり、子育てもしやすくなるのではないか、ごみ拾いの時間を設定したり、みんなが捨てたくなるようなゴミ箱を設置することで、人々の交流が増え、人と人がつながる町になるのではないか、また、災害が起きても安心して過ごせる町にするために、他県の先進的な事例を紹介しながら提案するグループもありました。

最後に吉本町長から、発表したすべてのグループにお返しの言葉がありました。新しくできた菊陽町総合体育館は850人が避難できる避難所にもなるので是非見に来てほしいことや、町のみなさんがおもいっきり使えるような公園を作っていきたいこと、また、今回サーカスを開催したように、これからもイベントを開催していきたいことなどのお話がありました。そして最後に、「これからもいろんなことに興味をもってまた私たちに伝えてほしい。」と子どもたちにメッセージを送られました。子どもたちが提案したことが取り入れられ、自分たちの町がより良い方向へ変わっていくなどの実感を味わうことができれば、本当に素敵なことだと思います。今まさに全国から注目されている菊陽町、成長し続ける町の主人公として自分の町がもっともっと大好きになるような教育活動を工夫していきたいと思っています。

～令和5年度後期後半を振り返って～12月

菊陽町の人・こと・ものとの出会いを通して～お法使祭りと獅子舞～



3年生は、総合的な学習の時間に町探検（本田さんのニンジン畑、山内みそ工場、さんふれあ、菊陽町体育館、杉並木公園さんさんなど）をして様々なことを発見したり、地域の文化と伝統について学んだりしてきました。12月には、お法使祭りの神事の際に舞われる「馬場楠の獅子舞」を体育館で披露していただきました。この獅子舞は馬場楠地区だけに受け継がれているそうです。そのお一人が、教育長の二殿一身先生です。二殿先生には、お祭りと獅子舞についての説明をしていただき、また、獅子楽に合わせて舞っていただきました。子どもたちはその勇壮な舞に大喜び。「迫力があって生きているよう！」「菊陽町には伝統があってすごい！」「菊陽町が好きになった」などたくさんの感想をもつことができました。本物との出会いを通して学びを深めた3年生です。